

記入例

様式第4号（第2条・第3条関係）

（表面）

現在児童手当を受給している方

児童手当

額改定認定請求書
額 改 定 届

行橋市長 殿		提出年月日 令和 〇・〇・〇		※受付確認年月日 令和 〇・〇	
受給者	(ふりがな) 氏名 (法人名等)	ゆくはし たろう 行橋 太郎		性別	男 女 〇 〇
	住所 (法人の主たる事務所の所在地)	〒 8 2 4 - 〇〇〇〇 行橋市中央1丁目1番1号 電話 090 (1 2 3 4) 1 2 3 4			
	職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者 加入している 公的年金制度の種類 ア. 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他 () ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に〇を記入してください。 () 私立学校教職員共済 () 国家公務員共済 () 地方公務員等共済			
	増 額 ・ 減 額 原因となる児童				
<p>ア.被用者…会社員など イ.公務員…国家公務員共済、地方公務員共済の場合 ウ.被用者でない者…その他 (自営業・配偶者の被扶養者になっている場合等)</p>					
氏名	続柄	生年月日	別居の別 る場合の出国年月	住所	監護の有無
ゆくはし いちこ 行橋 一子	子	平成 〇・△・×	同・別 〇	山口県下関市 〇丁目〇番〇号	有・無 〇
<p>・18歳到達後最初の年度末を迎えるお子さん ・令和8年3月卒業予定のお子さん についてご記入ください</p>					
<p>監護：請求者がお子さまの身の回りの世話をしていること</p>					
増 額 又 は 減 額 の 原因 となる 児童 の 兄 姉 等 (18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)					
氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別 る場合の出国年月	住所	監護相当の有無
ゆくはし いちこ 行橋 一子	子	平成 〇・△・×	同・別 〇	山口県下関市 〇丁目〇番〇号	有・無 〇
<p>生計費負担：請求者がお子さまの生活費等を負担をしていること</p>					
<p>増額した理由 ア. 出生 イ. 児童手当拡充による ウ. その他 ()</p>					
<p>減額した理由 ア. 死亡した イ. 監護しなくなった ウ. 生計を同じくしなくなった エ. 生計を維持しなくなった オ. 日本国内に住所を有しなくなった (留学を理由とするものを除く) カ. 未成年後見人でなくなった キ. 児童の兄姉等を監護相当の世話をしなくなった ク. 児童の兄姉等の生計費の負担をしなくなった ケ. 父母指定者でなくなった (児童の生計を維持する父母等の帰国) コ. 児童自立生活援助を受け、里親等に委託され、 又は児童福祉施設等に入所若しくは入院するに至った サ. 児童と同居しなくなった (単身赴任の場合を除く) シ. その他 ()</p>					
事由の発生した年月日			令和 8 ・ 3 ・ 31		
備考	※認定 改定 却下		※認定・改定・ 却下年月日	※認定・改定 年月	※手当月額
			令和 〇・〇	令和 〇・〇	3歳未満分 円
					3歳以上分 円
計 円					

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
- ◎ ※印の欄は、記入しないでください。
- ◎ 字は、楷書（かいしよ）ではっきり書いてください。